



新春市長・理事長対談 三原のまちづくりを占う!

二・三画



第48代理事長 じ 司
もり 盛 影 誠

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございませう。二〇〇九年の年頭に当たり、この一年が皆様方にとりまして最良の年でありますよう心からお祈り申し上げます。また、旧年中は(社)三原青年会議所に

写真提供 藤原 敏明氏

対し暖かいご支援とご協力を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。さて、皆様は他人のことを考えるゆとりを持っていらっしゃるでしょうか。例えば集合写真を見ると、だれもがまず自分を探してしまいが、そこに写っている全員を一人ひとり確認するゆとりがあるでしょうか。他人のことを自分のことのように大切に思えたら、自分もつと周りから愛され、必要とされる存在になるでしょう。そして、一人ひとりが自らを取り巻く様々な環境に関心を寄せれば、地域は、日本は、さらに世界は良くなると思います。

始動 つよくなるために

私は青年会議所活動を通して自ら成長途上にあると感じている一人です。

我々は何事にも諦めず、目的が達成するまで最後までやり遂げるつよい意思をもって取り組む姿勢を持っています。小さな活動や地味な活動でも最後まで諦めない姿勢をいずれば地域の人たちが認め、そして家族や我々を送り出す会社からも認められる。そして、そんな活動をしている我々の背中を見て地域の子どもたちがこんな大人になりたいと憧れる。そんな、我々の日頃の活動こそが青年会議所会員一人ひとりのつよい説得力を生むのです。

あわせて、我々全ての活動をささえる、経済的な後ろ盾のつよさも必要になるのです。

我々はつよくなる必要があるのです。それが「明るい豊かなまちづくり」につながるのです。本年度も、昨年度同様各委員会、そして会員一人ひとりが市民の意識を変革できるような様々な活動(事業)を繰り広げてまいります。そして、我々の弛まぬ努力と揺ぎないつよい信念に基づいた青年会議所活動こそが、我々の目指す「市民意識変革運動」に繋がるものと考えます。

これらの積極的な推進が、私にとって、第四十八代理事長としての最大の使命であると考えます。十五年の青年会議所活動の経験と、自らが青年会議所と出会い変革した我が身をもって、自分自身の誇りにかけ、自信に満ち溢れたつよい説得力と指導力を発揮し、始動させていただきます。

我々は始動します つよくなるために

みながきいたか

◆「強さが無ければ、やさしくなれない」という言葉を耳にすることがある。また逆に「やさしさが無ければ、強くなれない」とも言う人もいる。「やさしさ」とは人や物への思いやりや許容する気持ちだと思っただが、人としての「強さ」とはいったい何なのだろう。◆単純に「力(ちから)」だけでは足りないはずだ。優れた技術や豊富な知識というのあれば、多少のことでは動じない何ごとにも耐えられる精神も「強さ」の一つであるはずだ。では、どうすれば人は「強さ」を身につけられるのだろうか。◆二〇〇八年という年を振り返ってみると、狭い世界での人との関わり方しか知らないまま「強さ」を身につけられなかったことを周りのせいにして、何の関わりも無い人たちに迷惑をかけるだけでなく、生命をも奪ってしまう出来事がたくさん起きたような気がする。◆また、普通の人たちよりも「強さ」を持っているはずの政治家や投資家たちが、目先の利益を優先するあまりに「やさしさ」のかけらも見せずに突っ走ってしまったため、私たちの生活にも影響を及ぼすような様々な混乱を招いたことも思い出される。

◆人は生まれながらにして「強さ」を持っているわけではない。様々な人と関わる中で、多くの経験を繰り返して「強さ」というものを身につけてゆくのではないだろうか。そして、優れた「強さ」を持つ人は同じように「やさしさ」も兼ね備えているはずである。◆一人ひとりが身近な人たちに「やさしさ」を持って関わってゆくだけで「強さ」を身につけた人であふれてくるだろう。そうすれば今の混乱した世界は変わるのかもしれない。まずは家族から、そして、近所や職場の人たち、まちで出会う人たち、さらには世界中の人たちにも「やさしさ」を持って関わってゆくのだらう。あきらめることのない「強さ」を持って動き始めてみませんか。

ごあいさつ

第34回 三原やっさ祭り実行委員長

かね つな たけ はる
兼 綱 猛 晴



今から約440年前、豊臣秀吉政権下で五大老の一人であった智謀の将、小早川隆景によって築城された三原城。その築城を祝って踊り始めたのが起源とされる「やっさ踊り」と、それまで

別々に開催されていた花火大会と夏祭りを一本化し、盛大な祭りとしてこれまで33回の「やっさ祭り」が開催されました。三原やっさ祭りは正に、踊りと祭りの歴史が融合し三原市にとって欠かす事のできない祭りの一つとなりました。この歴史ある「やっさ祭り」の実行委員長という大役を与えて頂いた事に感謝し、その歴史に恥じぬよう全力で取り組んでまいります。本年度の目標としまして、お祭りの最大の使命であります安心安全で無事に終えること、そして永続的に見える環境づくりです。祭りを50年100年続けてゆくには様々な問題がございます。その中でも踊り手の育成と運営組織の在り方について考えてゆきたいと思っております。踊り手の育成は、子ども達やまだ踊りを知らない三原市民に対して踊りを知って頂くことです。運営の在り方については、長期的な視点で現在の運営方法が相応しいのかを再検討します。

最後になりましたが、第34回三原やっさ祭り実行委員長として、更なる三原のイメージアップをはかってゆくと共に、先輩諸兄が創りあげてこられた多大な功績を継承し、市民・行政・企業をはじめ、市民の皆様方と協働しながら、三原の原動力としてまちづくりの一助となるよう、精一杯努力してまいります。皆様方の暖かいご支援・ご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

卒業生紹介

皆様ありがとうございました



氏名	きくがわ よしひと 菊川 美仁	さとう きょうじ 佐藤 協二	た さか さとし 田阪 聡	ふじい けんじ 藤井 健司	もりあか てるゆき 守岡 輝幸
企業名	(株)ガルバ興業	(株)アウトコーポレーション	オートドリーム三原	(株) 藤井	しまなみ信用金庫
生年月日	S43. 4.16	S43. 3.18	S43. 3. 2	S43. 8.17	S43. 5. 2
入会年	平成10年	平成16年	平成16年	平成14年	平成17年

昨年12月31日に5名の卒業生を無事送り出すことができました。

新入会員募集

詳しくは下記連絡先へお問い合わせください。
担当：倉橋(くらはし)・出田(いずた)

三原が元気になるために！ つよくなるために！
私たちと一緒に「まちづくり」を始動させてみませんか!!

組織紹介



三役・直前理事長



LOM支援委員会



教育再生委員会



未来創出委員会



まちづくり委員会



総務・広報委員会

やっさもっさ 伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください



やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	1/6日	7日	8日	9日	10日	11日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社) 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所

編集 総務・広報委員会



あなたは「思いやりの心」を持って、子どもたちと接していますか？ 「将来の三原を担う子どもたち」を「家庭」を原点に考える！！

これまでのPTCA運動を振り返る

(社)三原青年会議所では、子どもたちの教育環境をよりよいものにするために、家庭と学校の中に地域社会を巻き込み「地域の子ども」として育てゆく「PTCA(従来のPTAに地域社会～Community～を加えたもの)運動」を展開してまいりました。イベントとして、田野浦小学校での手作りいかだによる沼田川の川下り、地域の大人と子どものふれあいを目的とした鷺島でのミカン狩り、また「おやじの会」の推進などを行ない、昨年はコミュニティ・スクール制度の導入を行政に提案しました。

2009年度は教育の原点から見つめなおす！！

本年度(社)三原青年会議所では「家族愛」をテーマに、教育の原点であり、社会の最小単位である「家族」に着目し「家庭教育」から見つめなおしてゆきたいと考えます。

現在、育児やしつけなどに不安を抱えている親や、いじめや不登校などの悩みを抱えている子どもはたくさんいらっしゃると思います。その不安や悩みを少しでも解決してゆくことが、将来の三原を担う子どもたちを育てるための第一歩だと考えます。そのためには、子どもに対する親としてのあり方について親自身が学び、考えることが必要

なのではないでしょうか。さらに、親や地域の大人が「思いやりの心」を持って、子どもたちを育てる大切さを学び、行動することで、親と子ども、地域の大人と子ども、子どもと子どもなどのよりよい人間関係が構築できるのではないのでしょうか。民間でも(関連記事2面)行政でも、様々な支援の取り組みは始まっています。

将来の三原を担う子どもたちを育てるために、よりよい子どもの教育環境向上のために。皆さんと一緒に「家庭教育」を改めて見つめなおしてみませんか?(関連記事3面)

現代の社会環境

子育て支援

子育て支援団体

- 親子間のふれあい事業

行政

- さまざまな子育て支援の施策
- 次世代育成支援行動計画を策定

地域

- 自治会などへの参加減少
- 地域の大人と子どもとの接点の減少

家庭

- 両親の共働き
- 核家族化
- 家族・親子間の共有時間の減少

子どもたちのコミュニティ

遊び方の変化

集団遊びから個人遊びへ
→育まれにくい人間関係

学校

- 道徳教育を強化
- いじめや不登校への対策
- 放課後こども教室の実施

親という仕事の責任

子どもたちにたくさんの事を教えるべき親が、子どもたちにまったく教えずにいれば、どうなるのでしょうか。

実際の事例として、良く挙げられるのが「狼少女」というものです。その少女は幼い頃から狼に育てられ、発見されたときには人間には見えなかったそうです。しかし、そんな少女に人間としての教育を施すうちに、徐々に人間らしくなってゆきましたが、結果として、年齢相応の精神(こころ)の発達はできませんでした。

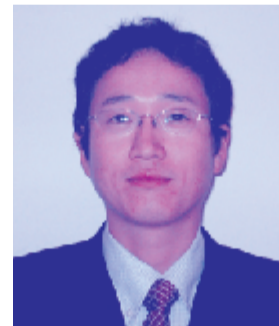
このことは「親」という仕事が、どれだけ子どもに対して「責任」を持つかという課題を投げかけます。子どもは生まれながらにして「思いやり」を持つ人間ではなく、親の教育により「思いやり」を持つのです。

思いやりの心を持つ大切さ

日本には「思いやり」という言葉があります。他人のことを自分のことのように考えて接する美しい文化です。

最近のテレビや新聞などの報道で、その様な「思いやり」の無い事件が多く聞かれます。このことは、世の中では「思いやり」が大人から子どもへと伝わっていないということを如実に示しているのではないのでしょうか。もしも、自分の命と同じように他人の命を大切に思える「思いやり」があれば、たくさんの不幸な事は起こらなかつたでしょう。

では、そのような「思いやり」の気持ちとは、どこで育まれるのでしょうか。それはやはり、最初に子どもたちが接する、社会の最小単位である「家庭」が重要な役割を果たしています。だからこそ、「思いやり」を育てるためにも「家族愛」は大切なのです。



教育再生委員会
藤井 俊孝 委員長

親の背中を見て子は育つのです！
子どもの「思いやり」を育てるために、まず大人が「思いやり」を育みましょう！

「思いやりの心を育てる大切さ」をテーマに、3月公開例会にて、講演会を開催します！
詳しくは3面に！！

今だからこそ「経営品質」を学ぶことが、生き残るために必要です!

近年、(社)三原青年会議所では、経営研修事業として『人間力』をテーマにした自分づくりの重要性や『TAセミナー』(自分理解・他人理解)を通じて人と人との繋がり的重要性、また『経営品質』の考え方を、青年会議所内のみならず、広く一般市民へも発信すべく開催してまいりました。

『経営品質』の考え方とは「社員満足」や「顧客満足」「社会貢献」などを基本理念とし、利己主義が色濃く出る損得だけの“ものさし”で判断する成果主義では失われやすい「信用

や「信頼」、さらには「リーダーシップ」の大切さを謳っています。

昨今、米国のサブプライムローン焦げ付き問題から端を発した株価の暴落で、金融市場は大きく混乱し、全ての産業を取り巻いている現在の経営環境は、一段と厳しさを増し、先行きの見えない不安定な状態といわざるを得ません。また、ここ数ヶ月の景気の様相は凄まじい勢いで悪化への一途をたどっており“100年に一度の不況”とまで言われる現状に対して「どうしていいか、わからない」とい

った声が多方面から聞かれます。

そこで「厳しさの増している」今だからこそ、これまでに開催してきた経営研修事業を改めて振り返るとともに、実行し継続することの重要性に着目し「今、まちづくりに貢献できる会社だからこそ成長する!」、そして「地域に求められることこそが会社の存在意義!」をテーマとして講演会を開催いたします。

「すばらしき経営」の実現の一助となりますよう、皆様の本セミナー参加をこころよりお待ちしております。

経営開発セミナーに参加してみませんか!

『激変の今、まちづくりに貢献できる会社だからこそ成長する!』

今回開催するセミナーでは『経営品質(価値革新を生み出す組織を作り経営の状態を高めようという考え方)』を認識し、厳しい経営環境を乗り越える真のリーダーシップのあり方、魅力

ある自分づくりの重要性について、日本経営品質協議会指定講師 鬼澤慎人氏にご講演いただきます。



株式会社
ヤマオコーポレーション
代表取締役

おにざわ まさ と
鬼澤慎人氏

<略歴>

1962年 茨城県水戸市生まれ
1983年 上智大学卒業、第一勧業銀行入社
1987年 ソロモン・ブラザース・アジア証券へ転職
2000年 (株)ヤマオコーポレーション設立
代表取締役就任

この貴重なチャンスをお見逃しなく!きっとあなたの力になります!

日時 / 2009年3月27日(金) 18:30~20:30

場所 / 三原市中央公民館 中講堂

お申し込み方法 / (社)三原青年会議所事務局までお問い合わせください

お問い合わせ先 / (社)三原青年会議所事務局 担当: 倉橋・出田



第34回 三原やっさ祭り キャンペーンテーマ大募集

『第34回三原やっさ祭り』を盛り上げるため、キャンペーンテーマ(キャッチフレーズ)を公募いたします。

8月7・8・9日の3日間開催予定の三原やっさ祭りは、メインとなるやっさ踊りを中心に、花火大会やステージイベント等、たくさんのイベントを企画中で、気軽に参加できる楽しいお祭りになりたいと考えております。

三原市最大の夏祭り「三原やっさ祭り」にふさわしく、また、一人でも多くの方々に参加していただけるような、明るく楽しい、そして親しみやすいキャンペーンテーマを広く募集します。

◆応募方法

ハガキ・封書・FAXまたは、持参。ホームページからも応募できます。

◆募集締切

平成21年3月6日(金)【必着】

◆表彰

優秀賞…1点
(賞金3万円とやっさオリジナルグッズ)
佳作…2点
(やっさオリジナルグッズ)

過去3年間のキャンペーンテーマ

- 第31回 好きなんよ うちのやっさ うちの三原
- 第32回 みたか きいたか♪ 浮城物語2007
- 第33回 三原の心 やっさ魂 2008

お申込み

〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所内
三原やっさ祭り実行委員会 森山まで
TEL 62-6155 FAX 62-5900
URL <http://www.yassa.net/>

やっさもっさ 伝言板

ちょっと一言投稿募集

皆さんの投稿募集中!!
「元気な三原になるために」
その他身近な意見もお聞かせください

3月号予告

三原の市民意識変革運動!
三原青年会議所、アクションプラン
を発表!お楽しみに!

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	3/3日	4日	5日	6日	7日	8日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>
ホームページから
メールマガジンが登録できます



携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

発行元 (社)三原青年会議所 編集 総務・広報委員会



4・12 市長・市議選

8万4494人の決断が 三原の未来を決める

はじめに

来る4月12日に「市長・市議会議員選挙」が行なわれます。市長選に関しては、現在のところ無投票となる公算が大きく、市議選が話題の中心になると予想されます。

そこで、今月は「選挙」をテーマに、三原のまちづくりについて考えてゆきたいと思います。



市役所全景

いうわけでもありません。

それなのに、市民は何を思って投票をしているのでしょうか。そこには「知っている人だから」「頼まれて」「仕事の付き合いで」という、より良い市政とは関係のない理由があるかもしれません。政治的や行政的な能力よりも、その人との「縁」で選んでいるのです。これでは立候補者に対する「人気投票」であり、政治的な期待をしても、よい反応が返ってくるわけがないのです。

また「地元だから」「出身地の人だから」という考え方もあります。確かに、地元出身の議員がいれば、地元への利益となるでしょう。しかし、市議会議員は地元の代表ではなく、市民の代表であり、市の全体の利益を考える人でないと勤まらないのではないのでしょうか。

これでは「どうせなにもしてくれない」「たいした仕事もしていない」という意見が出て、おかしくはありません。

にすることにより、歳費を押さえ、効率的な議会運営を行うという考え方です。

しかし、市民が効率化を主張し、議席を減らすためには、そういった意見を持った議員を市民自身が選出する必要があります。

まちづくりは市民が主役

市民は、行政や市議会に対して、どのような三原市になってゆけば良いのかを主張するべきだと考えます。そして、その一番のチャンスがこの4月12日に行なわれる「市長・市議会議員選挙」なのではないのでしょうか。

三原市をよりよい街にしてゆくためには、まずは市民がこういった機会を十分に利用して、行政や市議会に対して、自分たちの思い描くまちづくりを伝えてゆかなければならないと思います。

「なにもしてくれない」「たいしたことをしていない」のは、行政や市議会のせいではなく、本当は市民自身が「なにもしていない」「たいしたことをかंगाえていない」のではないのでしょうか。

だからこそ、三原市をよりよいまちにするために、市民はまちづくりに対してもっと意識を高め、積極的にこの選挙というチャンスを利用することで、三原の将来の姿がすばらしいものに変化するきっかけづくりにしてゆきましょう。

行政・市議会は市民の意識の鏡

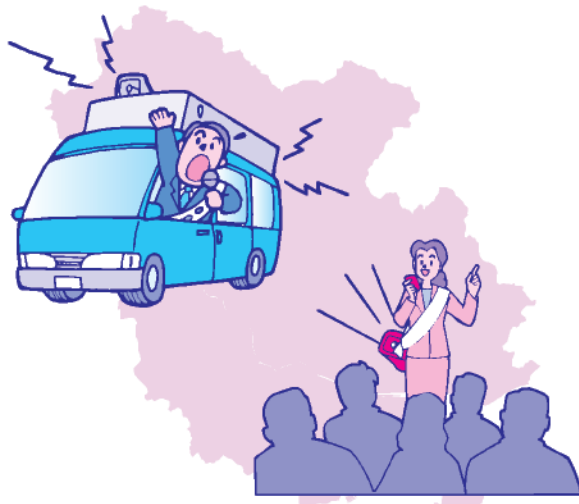
市長と市議会議員を選ぶのは、当の市民です。しかし、行政や市議会に対して、市民からは「どうせなにもしてくれない」「大した仕事もしていない」という声を聞くときがあります。そういった声に対して「市民として無責任な発言だ」という声はあまり聞きません。

「何かをしようとしている人」「大きな仕事ができる人」を選出するのが選挙であり、能力のある人たちを行政の長や、議員に選ぶことが、市民の権利なのではないのでしょうか。ですから、市民は、行政や市議会に対して責任を感じて選挙に臨んでいただきたいと思います。

市民の選挙に対する意識

三原市の投票率は約70%前後を推移し、市民の「選挙に参加」に対する意識は低くありません。

とはいえ、選挙参加意識の高さと、市政に対する興味の低さに、奇妙な違和感を覚えざるを得ません。そして、選出された議員が、支持者の希望と期待を市議会に反映しているかという、そう



議席数は適正と言えるのか

今回、新設合併の特例措置がなくなるため、市議会の議席は32となりました。この議席決定は、市議会によりなされています。法的には地方自治体法第91条に基づき人口当たりの議員数の最大数である36人よりは4名少ないのですが、果たしてこれが適正といえるのでしょうか。

議席数に対するアプローチは2つの面が考えられます。ひとつは、多くの議員を選出することにより、住民の意見を細やかに市政に反映できるという考え方。もうひとつは、最小限の議員定数



2面では
市議会の役割について、
考えてみましょう

3/27(金) 中央公民館にて経営開発セミナー開催!! (参加費無料)

『激変の今、まちづくりに貢献できる会社だからこそ成長する!』

今回開催するセミナーでは『経営品質(価値革新を生み出す組織を作り経営の状態を高めようという考え方)]を認識し、厳しい経営環境を乗り越える真のリーダーシップのあり方、魅力

ある自分づくりの重要性について、日本経営品質協議会指定講師 鬼澤慎人氏にご講演いただきます。



株式会社
ヤマオコーポレーション
代表取締役

おにざわ まさと
鬼澤 慎人氏

<略歴>

1962年 茨城県水戸市生まれ
1983年 上智大学卒業、第一勧業銀行入社
1987年 ソロモン・ブラザース・アジア証券へ転職
2000年 (株)ヤマオコーポレーション設立
代表取締役就任

この貴重なチャンスをお見逃しなく!きっとあなたの力になります!



日時 / 2009年3月27日(金) 18:30~20:30

場所 / 三原市中央公民館 中講堂

お申し込み方法 / (社)三原青年会議所事務局までお問い合わせください

お問い合わせ先 / (社)三原青年会議所事務局 担当: 倉橋・出田

第34回 三原やっさ祭り 2009ミスやっさ 大募集

山陽路最大の夏祭りである「三原やっさ祭り」は、今年で34回目を迎えます。

この三原やっさ祭りを通して、私たちのまち「三原」を全国にアピールしてみませんか?きっと忘れることの出来ない素晴らしい思い出があなたを待っています。



応募資格 三原市内及び三原市居住者または勤務者
満18歳以上の方(高校生不可)
観光アシスタントとして三原を全国にPRして頂ける方

受付期間 5月1日(金)まで

賞品 <ミスやっさ2名>・ハワイ旅行6日間 その他賞品
*それぞれの推薦者には推薦者賞をプレゼント
<2次審査参加者>・参加記念品を全員に差し上げます。

申込先 〒723-8555 三原市皆実4丁目8-1 商工会議所内
三原やっさ祭り実行委員会 担当: 森山
TEL 0848-62-6155 FAX 0848-62-5900
ホームページからも申し込みます。http://www.yassa.net/
所定の申込用紙に必要事項を記入しお申し込みください。



ちょっと一言

三原市の玄関口である三原駅前のペアシティ東館跡地が更地になって、1年近くになろうとしている。巷の話では、東京の不動産業者が予定通りにマンションや商業施設を建設できなくなり、事業は白紙に戻ってしまったと聞いている。しかも、土地を手放してしまう意向ということらしい。

これに対して、地元有志が市に対して、ペアシティ東館跡地の購入を訴えかけると新聞に掲載されていた。市が動き、あの土地を購入することで、また余計に税金がかかるのではないか、という不安も生じる。

しかし、三原市民として、何かできることはないだろうか。ペアシティ東館跡地は、旧三原城の本丸のあった場所でもあり、三原の人間としては心のよりどころになる特別の場所とも言えるのではないか。

個人的にできることはあまりないが、広島市の新球場建設の時に行ったような「樽募金」のようなことはできないだろうか、と考える。少しでもよいから、市民に力を合わせ、あの三原城のあった場所に、三原の心を集めることのできるような施設を作ることができるように、長い時間がかかってもよいから、市民の力を合わせて動き出してゆくことはできないだろうか。

城町在住 40代男性

やっさもっさ 伝言板

4月号予告

- ・2月公開例会開催!
- ・経営開発セミナー開催!

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	3/31日	4/1日	2日	3日	4日	5日
8:00		○	○	○	○	
9:30		○	○	○	○	
13:30		○	○	○	○	○
17:00					○	○
20:30	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○		
24:30					○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



← 携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所 検索

発行元 (社)三原青年会議所 編集 総務・広報委員会



大人が子どもの鏡とならなければ日本は滅ぶ

子どもたちのために親自らが意識を変革しなければならない!

(社)三原青年会議所は3月19日(木)公開例会として「親学」の提唱者である明星大学教授の高橋史朗氏を迎え『「思いやりの心を育む」大切さ』と題し、講演会を開催しました。



高橋 史朗 氏

心の貧しさは日本を滅ぼす

マザー・テレサが来日された際このようなメッセージを日本人に伝えて、警鐘を鳴らしました。

マザー・テレサの言葉

「アフリカの国々が滅びるのならば、貧困が原因でしょうが、日本は心が原因で滅びるでしょう。日本人はインドのことよりも日本国内の心の貧しい人への配慮を優先して考えるべきです。愛はまず手近なところから始まります。パンがなくて飢えるより、心や愛がなくて飢えるほうが深刻です。豊かな日本には心の貧しい人がたくさんいます。それに気づくことさえできない人もいます。愛は家庭から始まります。まずは家庭から、不幸な人を救いなさい。自分の家庭が愛に満たされなければ、隣人を愛することはできません。」

また、様々なデータから、日本の子どもたちの環境について検証しました。下枠参照

明治にはあった!家庭教育の規範

明治時代後期には「家庭心得」という、教育の在り方に関する文書が、学校から家庭に配布されていました。その中に、とても大切な言葉が載っています。

「ことわざ諺にも、教育の道は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、世間の教えで実がなる」

現在では、家庭も世間も教えは衰退し、学校だけが教育の矢面に立たされているように思われます。具体的な例として、東京都教育委員長の発言として「東京都の教育委員会の最大の課題は、モンスターペアレントへの対応である」というものがあります。東京都は「親との訴訟保険」に加入している小中学校の先生が30%を超えています。

昔は家庭と地域が教師を支えていましたが、現在はそうではありません。教師は大変なプレッシャーの中で仕事をこなしているのです。

すべては大人に責任がある

また「家庭心得」には、このような記載もあります。

ドイツを筆頭とする西洋諸国にて、通例小学校生徒の欠席は、父兄もしくは保護者の罪とし、理由なく学校を休む時には罰金もしくは禁固の刑に処す

当時の西欧で学校に行かないことは、親の罪になるのです。そして100年前のみならず、現在の西欧諸国でも同じような対応がなされています。**親が子どもの教育に対して全責任をもっているのです。**ですから、不登校の定義は「親の教育怠慢」であると考えられています。

日本では、校外で子どもが事件を起こしても、学校の校長や教師が責任を問われます。アメリカでは、校内で子どもが事件を起こしても、親が責任を取ります。

親の責任について、日本と諸外国では大きな意識の差があるのです。私は、日本人のその意識を変えなければ、この現状は変えられないと思っています。

日本人の子育て文化の断絶

読売新聞の調査によると、日本人の公共マナーが悪化したと答えた人は88%もいます。「家庭でのしつけに問題がある」「大人がマナーを守らない」「周りの大人が子どもに注意をしなくなった」といった理由があげられていました。これら**すべてはみんな大人の問題なのです。**まずは、大人が自らの意識を改めない限り、子どもたちのマナーは改善されません。そして、教育も改善されません。自分以外の誰かに責任を押し付けている限り、教育も子どもも変わらないのです。そして、これが教育改革の出発点なのです。

現代の日本では、子育ての文化が断絶しているのです。



相次ぐ凶悪事件の2つの共通点

近年、子どもたちの起こす凶悪事件には、2つの共通点があります。ひとつは、思いやり(共感性)が欠けていること。そして、自己抑制力が欠けていることです。IQ(知能指数)は高いがEQ(心の知能指数、情動指数、思いやりの心)が低い子どもが増えているのです。そして、大人しくて真面目で優秀な子どもたちが、相次いで事件を起こしているのです。

<子どもの環境にまつわる様々なデータ>

・日本青少年研究所の調査によると「私は役に立たない人間である」と答えた子どもたちが56.4%にも上る。

・シガン大学の調査では、世界でもっとも「幸せであると感じている」国は、ナイジェリアであり、次いでメキシコである。ニューズウィーク誌の評として「逆境が人間関係の絆を深めているからではないか」と分析している。

・ユニセフによる「子どもの幸福度調査」によれば「孤独を感じている」と答えた日本の子どもが30%もあり、世界の主要国の中では10%を超えている国はない。人間関係が希薄になっているのではないか。

経営セミナー開催！

(社)三原青年会議所は「激変の今！まちづくりに貢献できる会社こそ成長する！」と題し、日本経営品質協議会 指

定講師である おにざわまさと 鬼澤慎人氏を講師に招き、3月27日(金)に経営セミナーを開催いたしました。当日は多くの方が参加され、鬼澤氏に

よる講演を真剣に聞いていました。



経営のありかたやリーダーの姿についてわかりやすい講演を行なう鬼澤氏



時には3~4名の小グループでの討論



多くの方にお集まりいただきました



2時間のセミナーがあっという間に過ぎました

今回のセミナーでは、経営者に必要な「経営品質」のあり方について、鬼澤氏よりたくさんの教えを受けました。このセミナーで学んだことを、自らの会社に持ち帰り、実行することで、三原のまちがどんどん活性化してゆくきっかけになると、すばらしい三原になってゆくでしょう。経営の本質とは、経営者のあり方とは、いろいろと考える

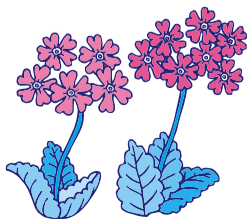
べきことの多いセミナーでした。ご来場くださった皆様にとって、よりよい時間になったと確信できる内容のセミナーを行なっていただいた鬼澤氏に感謝いたします。また、たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

またかきいたか

先日、有名女優とお笑いタレントの離婚が報道された。結婚が噂された頃には世間の話題を集め、五億円もの盛大な披露宴を催していた。今思えば、結婚後の生活ではなく、披露宴の開催が目的になっていたようにも思える。スタートとゴールを履き違えてはいないだろうか◆この四月から受験を勝ち抜き、大学生活を送っている若者もいる。合格は始まりではあるが、大学に進学する目的と勘違いし、浮かれている学生も多いように感じる。これは日本独特のものなのだろうか◆先日三原市でも選挙が行なわれた。候補者は当選することを最大の目的にしていらないだろうか。有権者は投票することを最大の目的にしていらないだろうか◆候補者は何をするのか明確に示す必要がある。財政が厳しいのにただ単に各分野に対して願望を曖昧に網羅しているだけでは許されない。何を最優先するかを具体的に示すことが重要で、これだけはやるという緊張感ある覚悟が必要だ。そして有権者は、それが実行されているかどうかを厳しい目を持って検証することが必要であり、これは有権者が責任を負うところではないだろうか。まずは一人でも多くの市民が高い意識を持つことがすべての始まりである。

やさもっさ 伝言板

やさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願ひ申し上げます。



やさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	4/27日	28日	29日	30日	5/1日	2日	3日
7:30	○	○	○	○	○	○	○
9:30			○	○	○	○	
12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00						○	○
20:00	○	○	○	○	○	○	○
22:30	○					○	○
24:30						○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL : (0848) 63 - 3515 / FAX : 62 - 1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



← 携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

三原青年会議所

検索

■発行元 (社)三原青年会議所 ■編集 総務・広報委員会



三原のまちを活性化するためのキーマンは市民!

もっと素晴らしい三原になるために意識と行動を!

あなたは、今の三原に満足していますか？三原がもっと素晴らしいまちになるために、何が重要だと思いますか？それはレジャー施設でもなく、観光施設でもなく、文化施設でもありません。ほんの少しの意識の変化と行動が、まちを変えてゆくのです!

行政はまちづくりの主役?

三原市は「協働のまちづくり指針」を平成20年2月に策定しました。これは住民と企業と行政とが一体となって、まちづくり活動を行なおうという動きなのですが、実はこの動きは全国的な流れでもあるのです。

「協働のまちづくり」とは、行政からの仕事の押しつけではないのか、など、様々なとらえ方があると思いますが、はたして「行政」とはまちづくりのために何を行なう組織なのでしょうか。

行政とは住民あつてのシステム

行政の活動とは、住民の意思に沿って動くのが基本原則です。

先日、三原市でも市長選・市議選が行なわれましたが、これは市民が市政の代表者と市民の意見を反映する代表者を選ぶものです。つまり、市長や市議が機能すれば、市政は運営できるとも言えます。

しかし、その選挙で市民の意思が示されなかった場合や、市民の意識が低かった場合、「市民の願うまちづくり」が行なわれるためには、市長や市議がしっかりと市民から意見の吸い上げを十分に行なうことが必要となります。

住民意識はどうなっているのか

そこで、改めて住民意識について考えてみましょう。

先日の市長選は無投票で現職が当選しました。市議選では、定数32名のところ、34名が立候補し、定数の議員が選出されました。

注目すべきは、全市を選挙区として行なわれ

る初めての選挙であるにもかかわらず、投票率が7.5ポイントも下がったことです(前回は72.23%、今回は64.66%)。なぜ、このようなことが起こったのでしょうか?

住民意識の低下?

新三原市として1市3町が合併して4年が経過し、それに対する評価としての選挙でもあったかもしれませんし、今後の展望に対する選挙であったかもしれません。

原因としては以下のように考えます。

- ・市長選は現職のみが立候補し、無投票となり、争点がなかった
- ・市長選、市議選ともに立候補者の政策がよくわからなかった
- ・市議選は、競争率の低さが立候補者と有権者にとって、緊張感を生む要素にならなかった

しかし、一番の原因は、市民が「自分たちのまちは自分たちでつくる」という思いが薄いからだとは思いませんか。

よく聞く言葉としては「三原にはなにもないけえ」「三原じゃけえ、だめじゃろ」というものがあります。また「だれかがやるじゃろ」「わしらじゃ無理じゃ」と、最初からあきらめていることもあります。

本当にそうなのでしょうか。私たちには何もできないのでしょうか。私たちには何もできないのでしょうか。

三原はいいまち!?

三原は陸海空の交通の便もよく、都市機能として不足しているものはあまりありません。天候も温暖で自然環境も豊かだと言えます。新三原市になり、小早川隆景を中心として歴史的な地域のつながりも、歴史的遺産もたくさんあります。伝統芸能も、地域文化も盛んで、特に夏の「やっさ祭り」と冬の「神明市」は全国に誇れるものです。また、財政状況、少子高齢化や教育、雇用や産業なども全国的に見れば平均的

で、特に見劣りするものではありません。

これだけの環境がそろっているのに、当の市民は「なにもない」「だめなまち」と思っているのです。

住民意識がまちを再生させた!

北海道の夕張市については、皆さんご存知でしょう。北海道の中心部に位置し、かつては「炭鉱のまち」として栄え、人口は11万を超えていました。しかし、石炭産業の衰退により人口は激減し、現在は約1万人であり、2007年には日本で初めて地方自治体として財政再建団体に指定され、事実上破綻しました。

夕張市の破綻は、従来型産業(炭鉱)から観光産業への転換に失敗したのですが、それを「行政主導」で行なったことが失敗の原因だったのです。

しかし、現在の夕張市はその逆境を「再生の機会」とし、数々の再建案を実施し、行政や住民が一体となり、まちの再生に乗り出しています。

夕張市では、住民と行政が一体となり、一生懸命に「夕張再生」へと取り組んでいます。行政だけが取り組んでいるのではないのです。行政の施策に対して、住民は悪いことは悪い、良いことは良いと、しっかりと意見を述べ、協働しているのです。

住民意識がまちを変える

まちの活気とは、住民が変えるものです。住民が「まちを元気にしたい」と思い、行動すれば、必ずまちは元気になります。我がまち「三原」を元気にするためには、今一番大切なことは、住民自身が「まちを元気にしたい」という思いをもつことであり、行動を起こすことなのです。

そのために、小さなことでもなにか行動を起こしてみることが、今の三原に必要なことではないでしょうか。

2面に市民参加型まちづくりの具体例を掲載!

私たちにはどんな行動が必要なのか!?

手作りキャンドルを作ませんか!

(社)三原青年会議所 まちづくり委員会

三原さつき祭りにブースを出展!

キャンドルはいろいろな場面を作り出すもの。あなたの思い出の中にも、そんなキャンドルの姿がありませんか。そんなキャンドルが、ご家庭から出たてんぶら油などの廃油から作ることができることをご存知ですか?廃油をそのまま捨ててしまうのはもったいない!せっかくだから、自分の手でキャンドルを作り、ちょっとエコに協力し、キャンドルの灯を楽しむなんて、素敵だとは思いませんか?

<暖かなろうそくの灯り>

ろうそくの灯りは、様々なイベントで、様々な心模様を映し出す不思議な光です。お祝いや追悼、平和への願い、または愛の象徴ともされ、祈りを捧げる場所には必ずと言って良いほどに登場するキャンドル。見る人によってこれほどまでに様相を変えるものも珍しいように思います。

<簡単に作れる!エコキャンドル!>

そんなキャンドルが、家にある素材で、たったの10分で作成できるのです。クレヨンやアロマを利用することで個性的なキャンドルも作成できますし、癒しの効果も期待できます。作る過程において、リサイクル、エコなど環境を考える第一歩ともなります。また、現在希薄とされている家族間のコミュニケーションを図ることも可能でしょう。作ったキャンドルを持ち帰っていただき、家の電気を消し、キャンドルを眺めながら色んなことに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

<三原さつき祭りにて、ブースを出展!>

(社)三原青年会議所まちづくり委員会では、三原さつき祭りにてブース出展し、ご家庭の廃油を利用したキャンドル作成のお手伝いと、実演を行ないます。作り方は簡単です!小さいお子様も親御さんが付き添っていただければ作成できます!

この機会にエコキャンドルと一緒に作ってみませんか!

日時: 2009年5月30日(土) 10:00~17:00

5月31日(日) 9:00~16:00

会場: 三原さつき祭り

フリーマーケット会場にて出展

みなさまのお越しをお待ちしております!

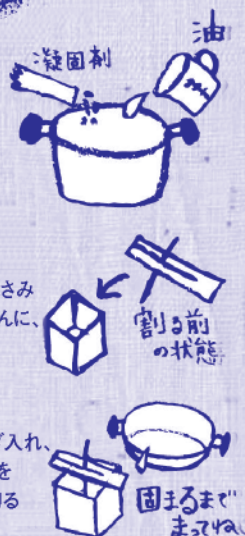
● 廃油キャンドルの作り方

材料

- 廃油 (揚げ物に使った油です)
- 油凝固剤 (油に対し表示されている分量)
- 割り箸 (キャンドルが固まるまで芯を固定します)
- タコ糸または、こよりにしたティッシュ (キャンドルの芯になります)
- 器 (牛乳パックや空き瓶など)

作り方

- 1 廃油に油凝固剤を溶かす
- 2 割り箸に芯をはさみ牛乳パックやびんに、芯を入れる
- 3 びんに油を注ぎ入れ、固まってから芯を適当な長さに切る



第34回 三原やっさ祭り

キャンペーンテーマ決定

キャンペーンテーマ募集では、全国各地から619通の応募がありました。多くのご応募ありがとうございます。その中から第34回三原やっさ祭りにふさわしいキャンペーンテーマを決定いたしました!

「踊りんさい 元気でヤッサ いい三原」

入選者 三原市 玖島 智満人 さん

夏の夜空のもと、三原市民をはじめとする多くの人々がやっさ祭りで、より元気になってもらいたいという願いを込めて選出いたしました。このキャンペーンテーマのもと、今年も熱い熱い「三原やっさ祭り」で盛り上がりましょう!

またかきいたか

唐突ではあるが「資質」とは何だろうか。改めて辞書を開き「資質」という言葉を引いてみると「生れつき持っている性質・天性・素質」と説明されている。それでは「市民の資質向上」となるのだろうか。三原市に当てはめてみると「三原市民が元々備えている性質や素質をさらに高めてゆく」という事になるのだろうか。◆もともと備えている性質や素質というのは、ただ単に人間単体のことだけを指すのではなく、自分が住んでいるまちの伝統や風土や気候など、すべてが重なり合って構成されるものであると考える◆そう考えると、市民の資質の向上とはそう難しく考える事ではない。まずはどんな素材でもいいから、自分の身の回りのちょっとした事から興味を持ち、その中で新たに発見した事や、疑問に思った事について考えてみるだけでも、十分に「資質の向上」に繋がってゆくのではないだろうか。◆まちに不満を持つよりも、まず自分自身がどれだけ自分たちのまちについて理解しているかを認識し、もう一度あらためてまちを知ることを始め、自分たちの住むまちが明るくなってゆきつつかけを新たに見つけてゆきたいと思う。

やっさもっさ 伝言板

6月号予告

三原のまちを再検討!
まちの魅力を探る!

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	6/1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
7:30	○	○	○	○	○	○	○
9:30			○	○	○	○	
12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00						○	○
20:00	○	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○	○	○	○
24:30						○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

■発行 (社)三原青年会議所

■編集 総務・広報委員会



今、まちの魅力を再度考える!あなたはどのような三原が理想のまち?

三原の未来を「市民参加型」のまちへ!!

今月はまちの魅力とは何かを考え、三原のまちの将来にとって大切なことを探ってゆきたいと思います。

未来予想図を思い描いた頃

私たちが子どもだった頃、未来のまちはどのようになってゆくと想像していたでしょうか。世代によって未来予想図は違いかも知れません。しかし、共通することとは「理想」があったということではないでしょうか。現在の状況を踏まえ「理想」とするまちづくりのためにはなにが必要なのかを、今一度考える必要があるのかもしれない。私たちは三原にただ単に住んでいるのではなく、三原のまちをつくる市民の一人として、その理想へ近付くために行動を起こす必要があるのではないのでしょうか。

地方分権の時代を迎える...

現在、行政改革の流れは地方分権に向いています。これは、2000年に施行された「地方分権法」によるものです。具体的には「平成の大合併」もそれに基づいて行なわれました。

三原でも旧三原市・旧本郷町・旧久井町・旧大和町が合併し、新三原市が誕生しました。その先にある姿は「地方分権」であり、いわゆる「道州制」というものです。「道州制」とは、これまでの都道府県の枠組みを、大きな枠組みに再編成(たとえば中国州では中国地方5県を統合する)し、国で行なうべきことは国で、地方で行うべきことは地方でと、国の持つ権限を現在よりも地方自治体に委譲する仕組みです。そのため、税源の移譲や行政の効率化が急がれています。

このような時代になれば、地域間競争が生まれて世の中が活性化する、という話があります。また逆に地域間格差が広がり、地方が弱くなる、という話もあります。

地方自治の仕組みは変化しようとも、地方自治のありかたは現在でも将来でも変わりません。**すなわち、自分たちのことは自分たちで決める「市民による市民のためのまちづくり」が重要となってくるのです。**

行政の唱える協働

三原市は「協働のまちづくり指針」を策定しましたが、どうしてこのような指針を策定しなければならないのでしょうか。

- 住民ニーズの多様化
- 地方分権の時代への対応
- 行政からの一方的なサービスからの脱却
- 少子高齢化の時代への自助努力の必要性

これこそ「市民による市民のためのまちづくり」なのです。



協働のまちづくりの必要性

では、どうしてそのようなことを行なわなければならないのでしょうか。

現在、情報化・国際化・社会経済の成熟化などにより、住民から行政に求められることが多様化しています。一昔前なら「道路がほしい」「学校がほしい」「水道がほしい」といった多くの市民によるまとまった要望(インフラ整備)に応えることが行政の役割でした。しかし、それらが一通り揃っている現在、住民は行政に対し様々な要望を求めるようになってきているのです。

市民はどのような暮らしを望んでいる?

現在の三原には、様々なNPO団体・まちづくり団体が存在しています。それらはどうして生まれたのでしょうか。やはりそこにはライフスタイルの多様化による「理想のまち」の変化があるのではないのでしょうか。

(社)三原青年会議所は1962年に設立されたまちづくり団体ですが、運動の変化を見てみましょう。

- 1969年 新幹線駅設置運動
 - 1972年 在来線高架署名運動
 - 1973年 駅前再開発運動
 - 1976年 第1回やっさ祭り開催
 - 1989年 (社)日本JC会頭 更家悠介君を招いた講演
「こことゆとりのまちづくり」開催
 - 1996年 リサイクルで未来クル懇談会開催
 - 2000年 舩添要一氏を招いた講演
「地方分権とこれからの広域合併を考える」
協働のまちづくりの推進
 - 2002年 PTCA(従来のPTAに地域を加えた教育環境)運動の推進
- この約45年の間に、インフラの整備の推進から、まちづくりのしくみや教育のしくみへと運動が変化していることが解ります。これは、市民の求めるべき理想が時代によって変化している様子を示しているのではないのでしょうか。

まちづくりの主役はやはり市民!

価値観の多様化した現代社会では、住民の要望が多様化してゆくことは、当然の成り行きとも思えます。しかし、行政の限られた税収の中で、要望をすべてを受け入れて反映させることが困難になってきています。

そこで、私たちがより暮らしやすい環境を作るために「市民による市民のためのまちづくり」を行なう必要性が出てきているのです。

[2面へつづく➡](#)

三原さつき祭りにて「エコキャンドルブース」盛況!

5月30日・31日の両日、(社)三原青年会議所まちづくり委員会(富田伸博委員長)が「エコキャンドルブース」を出展いたしました。
今回の出展では、子どもたちが楽しそうにエコキャンドルを作っている

姿がとても印象に残りました。中には「ママへ」とキャンドルの容器に書いて持ち帰る子どももおり、それぞれのご家庭でお楽しみいただけただけなのではないかと思えます。



「エコキャンドルブース」に、たくさんの方に足を運んでいただき、誠にありがとうございます。
ご家庭で実際に作ってみて、キャンドルのともしびの中、家族団らんを楽しんでみてはいかがでしょうか?

2009 三原ミスやっさ決定!!

三原の魅力を一人数でも多くの人にアピールして、三原のことを好きになってもうえるようにがんばってゆきます!



1年間、よろしくお願いたします!!

小林 三希子
(こばやし みきこ)

三原の魅力はたくさんあるの
で、これから一年間、しっかりと三原のいいところをPR
してゆきたいです!

(社)三原青年会議所 特別理事
第34回三原やっさ祭り
実行委員会出向



兼綱 猛晴
実行委員長

今年の三原ミスやっさも決定し、どんどん祭りに向けて盛り上げてまいります!

左記のお問い合わせ先

三原やっさ祭り実行委員会

住所 三原市皆実4-8-1
TEL 0848-62-6155 (担当:森山)
詳しくは三原やっさ祭り公式サイトへ
URL <http://www.yassa.net/>

お笑い! やっさライブ2009

日時 2009年8月1日(土)
①13:00~ ②16:00~
場所 三原市芸術センター ポポロ
入場料 3000円(前売り) 2500円

※当日は混雑防止のため、開演3時間前から整理券を配布します。

YASSA DANCE BATTLE 2009

出場者大募集!!

切: 2009年6月30日(火) まで
資格: 小学生以上で2名以上のチーム
ダンス: ストリートダンス全般

やっさもっさ伝言板

7月号予告

核と平和を考える
あなたは平和を当たり前と
思っていませんか?

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	6/29日	30日	7/1日	2日	3日	4日	5日
7:30	○	○	○	○	○	○	○
9:30			○	○	○	○	
12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00						○	○
20:00	○	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○	○	○	○
24:30						○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP <http://mihara-jc.com>
ホームページから
メールマガジンが登録できます



携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所

検索

発行 (社)三原青年会議所 編集 総務・広報委員会



30,000
CANDLE
PROJECT

みはら Everlasting Light

「みはら」が変わる。「みんな」で変える。

2009年秋 開催予定!!

廃油で作るキャンドルを集めます!

「みはらエバーラスティング ライト」は輝く三原を創る最初の一步に皆さまのお力が必要です! 家庭で出る廃油(使用済みの食用油)を使って皆さまにキャンドルを作っていただき点灯致します。皆さまのご協力があって始めて実現する「三原が生まれ変わる夜」となる幻想的なパースデーナイト…。

めざせ3万個! ギネス記録更新!!

「みはらエバーラスティング ライト」では3万個のキャンドルを目指しています。目標が達成すればギネス記録を更新する事になるのです! 三原市の自慢の一つとなるよう、一緒にギネスへ挑戦しませんか。

みはらが生まれ変わるキャンドルの夜

「みはらエバーラスティング ライト」は私たちの三原を私たち「みんな」の力で「輝く三原」へ変える最初の一步を踏み出すイベントです。市民の皆さまの想い、三原への希望をキャンドルに込めて光を灯します。実施に向けてキャンドルを皆さまの手で作って、集めてゆくことで市民の皆さま同士の繋がりを感じてもらいたいと思っています。一つの光は小さくとも、集まった沢山の希望の光は三原を照らし続けるでしょう。

目指すは3万個の希望の光

キャンドル数の目標は世界一の3万個です。その日は三原にとって「輝く三原へ生まれ変わる日」「世界一を獲得した日」という大きな記念日になります。皆さまの様々な抱かれた「みはらへの想い」を込めたキャンドルを1か所に集めて灯し、その体験を得て「私たちの力を合わせれば、何か出来る!」と感ずるのではないのでしょうか。

子どもたちの自慢となるまち、三原

市民が一丸となって力を合わせて取り組む、この「みはらエバーラスティング ライト」を通じて、子どもたちには心と体で楽しみながら「力を合わせれば出来る」「三原でスゴイことが出来る」と感じて欲しいと思っています。そして、このイベントで得た経験や感動が、子どもたちの団結力や郷土愛を育むきっかけになると考えています。

3万個のキャンドルを集めるためには、市民の皆さまのご理解とご協力が必要となります。 「みはらエバーラスティング ライト」を盛り上げ、一緒に「世界一の夜」を迎えませんか!

子どもたちに裸足で遊んでほしい!!

三原小学校の上校庭で芝生が育ち始めました!

昨年5月、三原青年会議所の地域の教育力向上委員会が開催した公開例会「地域の教育力先進都市を目指して」の中で取り上げられた「出雲市立大社小学校」のグラウンドが芝生になっていることに、三原小学校の森谷校長は大変興味を持たれた。



大社小学校の芝生のグラウンド

「子どものケガ防止の為に、三原小学校でも芝生化ができないものだろうか…」



三原小学校 森谷 浩校長

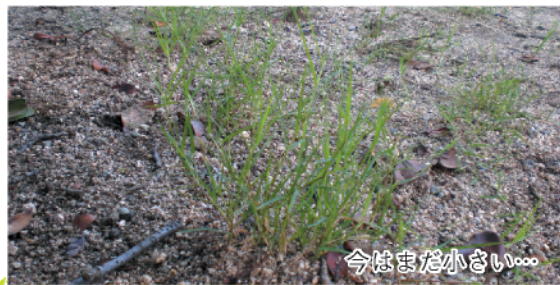
学校に帰り、教職員やPTA本部役員、おやじの会などに芝生化を提案すると好感触を得たが、どのようにして芝生化すれば良いのかを行動に移すためには何もかも分からない状態だった…。

しかし、今年5月に急展開を迎える。三原青年会議所より広島県民活動課の援助で「とよひらウイング」の下田氏が三原運動公園に芝生を植えてやってくるという情報が、森谷校長へもたらされたからである。

早速、三原運動公園に出向き、下田氏に想いを伝え、芝生化に協力していただけることとなり、6月14日(日)教職員・PTA・おやじの会が一体となり、三原小学校の上校庭(約200㎡)に芝生を植えることとなった。



上校庭に植えられた芝生



今はまだ小さい…

実際に芝生を植えてみて、子どもたちは「早く大きくなればいいな」と期待しているようだ。また、教職員も自分の植えた芝の成長が気になり、大切に育てているという。

現在は、水やりを行ない、順調な成長を待っている状態であるが、上校庭の芝生化が完成した後は、グラウンドの周囲にも芝生を植えてゆきたいなど、さまざまな夢が生まれてゆく。



9月には上校庭の一面が芝生となるという

三原小学校の上校庭芝生化をきっかけに、芝生のある学校が三原に広まることで、子どもたちがよりよい学校生活を送れるようになれば…。また、この芝生が地域とのコミュニケーションの場になれば…。たくさんの明るい兆しが見えてくる。昨年度のコミュニティ・スクール制度の提案が、このような効果を及ぼしている。これが学校を元気にし、**子どもたちの明るい未来のため**になれば、本当に素晴らしいことだと思う。

人・未来に通じる豊かな食生活を考えましょう!

主催 / 食の安全と食育について考える実行委員会
協賛 / (社)三原青年会議所 他

入場
無料

「食の安全と食育について」公開討論会&シンポジウム 開催

近年、地球温暖化など環境問題への関心が高まっている中、食の安心・安全を脅かす事件が立て続けに起こり、食への信頼が揺らいでいます。また、世界的にも食の安定供給・安全性・生態系の保全などのテーマが注目されています。

そこで、専門家による講演会と、市長をはじめとする各界で活躍されている方々によるシンポジウムを開催し、食の安心・安全と食育について考えてゆきたいと思えます。

日時 2009年7月26日(日) 開場 13:00 開演 13:30
基調講演「食の安全を考える」
講師 東京農業大学教授 高野克巳氏
14:40~16:40 シンポジウム「食の安全と食育について」
場所 三原市芸術文化センター(ポポロ)大ホール

お問い合わせ・事前申し込み先

食の安全と食育について考える実行委員会 事務局
TEL 080-6309-6219 FAX 0848-62-6152

やっさもっさもっさ 伝言板

8月号予告

第34回 三原やっさ祭り
大特集!

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	7/27日	28日	29日	30日	31日	8/1日	2日
7:30	○	○	○	○	○	○	○
9:30			○	○	○	○	
12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00						○	○
20:00	○	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○	○	○	○
24:30						○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL: (0848) 63-3515 / FAX: 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



携帯の方は、
こちらから
お問い合わせ
下さい。

三原青年会議所 検索

発行 (社)三原青年会議所

編集 総務・広報委員会



三原やっさ祭りのお礼 踊りんさい元気でヤッサいい三原!



第34回 三原やっさ祭り実行委員長 かねつな たけはる 兼綱 猛晴

三原市民の皆様を始め、多くの関係各位のご協力、ご支援を頂きまして、8月7日・8日・9日に第34回三原やっさ祭りを無事開催することができました。7日・8日のやっさ踊りでは天候にも恵まれ、また厳しい社会情勢にも関わらず昨年と同等数の約100チーム、約7,000人の踊り手で盛大に行うことができました。9日の花火フェスタでは、前日の夜から当日夕方までの降雨で、開催について多くの方々にご心配をお掛け致しましたが、三原市民の皆様の熱い想いからか、打ち上げの時間には雨が上がり、無事開催することができました。実行委員会の代表と致しまして厚く御礼申し上げます。

第34回三原やっさ祭りは「踊りんさい 元気でヤッサ いい三原」をキャンペーンテーマとし、三原や

っさ祭りを通して、人やまちがより元気になって頂く祭りにしてゆきたいと考え、準備をして参りました。やっさ踊りに出場すること、踊りを観覧することで元気になって頂ける祭りを目指し、さらには元気の源は笑顔と考え、今回は初めての試みとしてイベント「お笑い! やっさライブ2009」や7日のステージイベント「桜塚やっくん スペシャルライブ」を開催いたしました。三原やっさ祭りの様々な催しが皆様の活力に繋がることを願っております。

最後に、今後も三原市にとって欠かすことのできない祭りの一つである三原やっさ祭りに対し、皆様により一層のご理解、ご支援そしてご協力賜りますようお願い申しあげまして、お礼の言葉とさせていただきます。

写真提供 吉原写場

30,000 CANDLE PROJECT

みはら Everlasting Light

開催日時 発表!!
2009年10月31日(土)
18:30~21:00
第6回三原浮城まつり
の前夜祭として、開催いたします!!

〈みはらエバーラスティング ライトとは〉
 私たち三原青年会議所は、ビジョン「三原の誇想 創力」を掲げて活動していますが、そこに込められた『誇りに想えるものを創る力を生み出したい。住む人みんなで総力をもって創りたい』という思いをカタチにしたものが**みはらエバーラスティング ライト**です。三原市全体に包まれる一体感と、新しいアイデンティティが**三原の未来を明るく照らす記念すべき夜**を演出します!

「みはら」が変わる。「みんな」で変える。

〈市民のチカラを合わせてギネス記録に挑戦!!〉

みはらエバーラスティング ライトでは、ご家庭で使った油(食用廃油)を利用して簡単に作ることができる手作りキャンドルを使用します。そして、ギネス記録に挑戦するためには**3万個のキャンドル**が必要になります。そこで、市民の皆様のお力を少しずつ分けていただき、一人では叶わない夢も、みんなで力を合わせれば大きな夢に挑戦できることを、私たち自身が実感してみませんか。そして、ギネス記録達成という成功を得たとき、一緒に感動を共有する時間を過ごしてみませんか。
私たちは記念すべき夜を迎えるために、がんばります!
皆様のご理解とご協力の程、お願いいたします!!

先着100名

一緒にイベントを盛り上げよう!
ボランティアスタッフ募集中!
 三原に住む人々が想いを込めて作ってくれたキャンドルを集めて、三原にちなんだカタチを作り、点灯します。
★「輝く三原」への希望を込めて、3万個のキャンドルでギネスも成功させましょう!

ボランティアスタッフの皆さまには、
開催当日のお手伝いをお願いしています!

①お名前②連絡先(電話番号のみでもOK)
 ③ボランティアに参加します
 とお書きいただき、下記連絡先へファックスもしくはメールをお願いします! 年齢・性別問いません!
 (但し、未成年の方は保護者の同意が必要です)

3万個のキャンドルは明かりを灯すだけでも大変な時間がかかります。ご協力、よろしく願いいたします!
三原に輝けるものを、私たちの手で...
三原の子どもたちに、明るい未来を...

Tomita Captain

主催 / (社)三原青年会議所
 お問い合わせ先 / 三原青年会議所 まちづくり委員会 (富田・古本)
 FAX : (0848) 62-1141 携帯 : 080-1638-5334 (担当 富田)
 e-mail : info@mihara-jc.com

経営セミナーを開催! — あきらめなければ夢はかなう —

『何気ない出会い(チャンス)に気付くこと! 出逢いを生かせば道は開ける!』

100名限定!

入場無料

現在の厳しい経営環境の下、成果主義になりやすい世の中で忘れがちになっている大切なことを、この機会を使い見つめなおしてみませんか?

本来の経営で重要な要素である、人と人との繋がりの中で培われる「信用」や「信頼」・「感謝」や「思いやり」の大切さを改めて認識していただき、三原に必要とされる企業へとさらに成長する一助となることを目的として、有限会社クロフネカンパニー代表取締役の中村 文昭氏をお招きし、経営セミナーを開催いたします。

日時: 2009年9月5日(土) 13:00~15:00
 定員: 100名 入場料: 無料
 場所: 雇用・能力開発機構三原能力開発センター 1F多目的ホール
 申込方法: (社)三原青年会議所 事務局までお問い合わせ下さい!
 連絡先は下記の「すべてのお問い合わせ先」を参照
 担当: 倉橋

~魅力ある“自分づくり”が、明るい未来を創出する~
是非、この機会をお見逃しなく!!



■ 講師プロフィール

なかむら ふみあき
中村 文昭氏

19歳。六本木の飲食店を任され、お客様を喜ばせることだけを考え、店を大繁盛させる。その後5店舗まで拡張。21歳。三重県に戻り伊勢市で10席の飲食店「クロフネ」を開店(1号店)し、26歳の時、2号店としてリビングカフェ「クロフ

ネ」を開店。若者が心から楽しく皆から祝福されるような「手作り結婚式」の演出を始める。現在では年間50組以上の「手作り結婚式」を手掛け、伊勢でのダントツの人気を誇る店となる。また、最初は人から頼まれたれ講演が評判となり、自分の体験や経験に基づいた講演活動を年間300回以上行ない、人材育成にも力を入れている。

やっさもっさ 伝言板

9月号予告

・ 少子高齢化を迎える
 三原の将来の考える

やっさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。

やっさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	8/31日	9/1日	2日	3日	4日	5日	6日
7:30	○	○	○	○	○	○	○
9:30			○	○	○	○	
12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00						○	○
20:00	○	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○	○	○	○
24:30						○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所
 〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
 TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
 HP http://mihara-jc.com
 ホームページから
 メールマガジンが登録できます

三原青年会議所 検索

■発行 (社)三原青年会議所 ■編集 総務・広報委員会



このまちの未来を憂い、

このまちの発展を考える

五藤市長を招き

ディスカッション!

8月例会



この先必ず訪れる少子化・高齢化、もうすでに訪れている過疎化問題。それらは今までの成長する社会とは正反対の縮小する社会であり、変えようの無い事柄です。そこで行政はどうすれば良いのか、市民はどうすれば良いのか、そしてJCには何が出来るのか。三原青年会議所8月例会にてLOM支援委員会(村上陸宏委員長)により、この問題についてレポート報告、五藤市長をお招きしてのディスカッションを実施いたしました。

少子化・高齢化・過疎化が三原にのしかかる

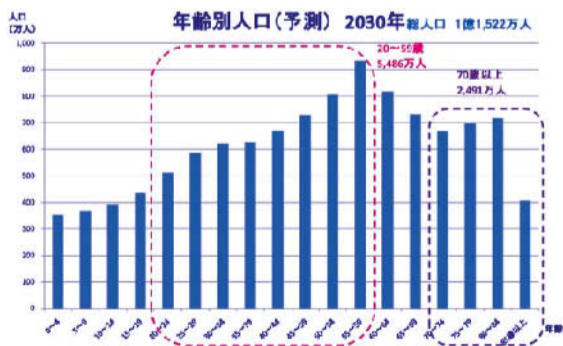
LOM支援委員会レポート

【人口推移】

少子化・高齢化・過疎化とはそれぞれが別の問題ですが、将来において、それらの問題が同時に起こって来ます。

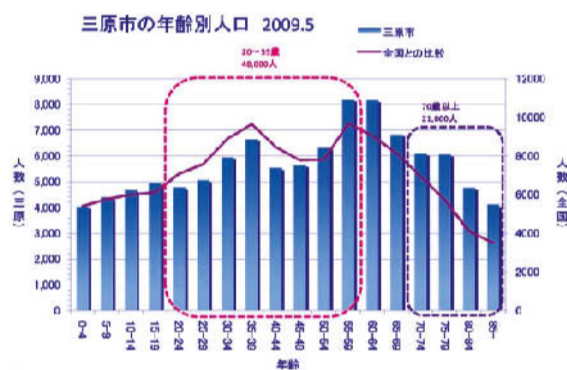
厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所では、2007年頃の約1億2800万人を境に、2030年に1億1500万人にまで人口が減少すると予測しており、現在よりも約11%の減少となります。またこの10年で国の人口が微増しているにも関わらず、三原では約5%の人口減少が過疎化により起こっています。

【日本の年齢別人口】



20年後の20歳以上の人口は現段階で確定事項であり、グラフの通り労働者人口は12%減り、それに合わせて社会保障を受けるべき高齢者人口が20%増加してゆきます。現在の少子化は1970年代後半から起こっており、その頃の子どもたちが親になった現在では、出生数がかなり減って来ました。

【三原の年齢別人口】



三原ではさらに深刻です。2006年の三原の合計特殊出生率は1.36で全国平均の1.32を上回っており、子どもの出生率は全国平均よりやや高いのですが、20代以降からの人口は全国平均を下回ります。進学や就職などで三原を離れる若者が多いことが原因だと思われます。また55歳以上の年齢の人口は全国平均より圧倒的に多く、これは戦後の高度成長期に工業都市として発展した際の労働者流入によるものと思われます。

【まちの魅力の向上=バランスの良い発展】

我々のような市民団体にこれらの問題に対する根本的な解決は出来ません。我々に出来ることは今まで以上にまちの魅力を伸ばし、都市間競争に打ち勝つことではないでしょうか。それは工業に特化するのでも商業に特化するのでもなく、工業・商業・暮らし・観光といったものがバランス良く混在するまちづくりではないかと考えます。

【目指す共通の未来は、都市間競争で打ち勝つこと】

私たちには未来のまちづくりに対しての市民共通のビジョンが必要だと考えます。具体的には、**繁栄するまちを目指し行動計画を立てることを提案**します。

三原は非常に多くの魅力的要素を持っているのに、それを十分に活かしていないのではないのでしょうか。そして、市民が一丸となりアイデアを絞り出せばもっと魅力あるまちに出来るのではないのでしょうか。それを怠ると、駅前に大きな空地があり続けてしまうのではないかと危惧します。



以上の問題をもとに、縮小してゆく社会の中で三原は生き残れるのか、生き残るにはどうすれば良いのか、五藤市長をパネリストとしてお招きし、盛影理事長とディスカッションをおこないました。



都市間競争に打ち勝つ

五藤市長 vs 盛影理事長



ディスカッションにおいて、三原青年会議所からまちの活性化についていくつかの提案をいたしました。

【三原の少子化・高齢化・過疎化について】

市長 まずJCの皆さんにこのまちを本当に心配して頂いていることに対して、敬意を表したいと思います。少子化・高齢化・過疎化は深刻な問題だと思います。三原市も合併時に10万5千人いた人口がすでに現在10万3千人となり、しかもその内の27%が高齢者です。過疎化について、三原市内でも共同体としての機能が難しくなっている集落が何箇所か見られます。現状について市でもレポートと同様の認識をしております。そこで市長である私の使命としてまちが生き延びていく、より豊かさを求めていく、幸せを実現する三原市にしなければならないと考えておりますし、頑張ってゆかなければならないと思っています。



ホットな三原のまちづくりに向け ホットなカレーを食べて ホットに懇談!!

カレーライス会を開催!!



1968年に始まった「カレーライス会」は、三原市長と(社)三原青年会議所理事が、和やかな雰囲気の中でカレーライスを食べながら、三原のまちづくりに関して意見交換を行ない「協働のまちづくり」へ向けて相互理解を深めるための懇談会です。

地方分権に向けて

村上 地方分権の重要性が声高に叫ばれています、その理由は中央官僚主導の政策を打ち破ってゆく必要があると世間では報道されていますが、五藤市長はどうお考えでしょうか。

市長 私は全国市長会の地方分権を研究するグループに入っていますが、全国市長会は9月27日に「鳩山新内閣発足における緊急要請」を行ないました。その中で、法に基づく国と地方の協議の場の確保、補正予算凍結は自治体に支障がないようにすること、子ども手当や高校無料化の財源を国で確保することなどを申し入れています。また、地方分権推進委員会がいろいろ提案していますが、なかなか前に進んできません。国会で法整備を行なってもらう必要があります。民主党は地方にも主体性を持たせたいと考えているようですが、権限を移譲するだけでなく、財源も移譲してもらう必要があります。また、自治体も人材の能力をよりつけてゆく必要が出てきています。地方分権になっても、地方が豊かにならなければ意味がありませんから、地方のニーズにこたえるような地方分権を押し進めてもらいたいと思います。

村上 また、中央集権による公共事業は無駄使いが多いと言う声を聞きますが、市長としてはそれらについてどう思われますか？



LOM支援委員会
村上委員長

市長 後期高齢者制度の廃止などは、市の事務的な負担になると思いますが、家計の出費は減ると考えています。また、公共事業ですが、

地方のニーズに合わない規格で道路や下水など工事を計画するので、無駄な予算が生じるケースがあるように感じています。地方分権は賛成ですが、国と地方自治体の役割分担を明確にしなければならぬし、地方の想いが実現できるようにならないといけないと思っています。

地域コミュニティの再生が必要

村上 町内会連合会が地域コミュニティにとって重要な存在ではないかと考えていますが、まだ市内全域に広がっていないと聞いています。町内会組織の重要性と盛り上がりの必要性を、当会議所では昨年より強く訴えて来ましたが、行政からは町内会の運営に対して支援を出来ないのでしょか？

市長 町内会連合会には、現在、町内会の8割が入っており、市から人材育成や活動のために補助金を出しています。市でもできるだけ市職員に地域の活動に参加するよう促していますが、まだまだと感じています。近年、自主防災組織ができ、地域コミュニティが再生しているように感じています。地域のリーダーが活発な方であれば、その地域は元気になることは間違いないと感じています。しかし、マンションに住む人たちは、それぞれ独自の自治会を作っており、地域組織への参加が遅れているようにも思いますが、参加を促してゆきたいと考えています。

思いやりの心は家庭教育から

藤井 子育てには「思いやりの心」が大切ですが、市長はどう思われますか？

市長 確かに教育の原点は家庭が基本で、家庭の習慣が子どもの成長に大きく影響していると思います。親は習慣として思いやりの心をもった言動を大切にしてほしいと考えています。教育長も「早寝早起き朝ごはん」を合言葉にしているようです。実際22時から2時まで脳を休め

ることが大切であると専門家も言っています。

藤井 親が子育てを学ぶ「^{おやがく}親学」について、行政にもっと力を入れてほしいと思いますが？

市長 子育て支援について、様々なアプローチを行なっていますが、もっと多くの方に参加してもらい、積極的に活用してもらえれば、地域の家庭教育のリーダーが育成できると思います。そういった立派な親の背中を見て、子は育つのではないのでしょうか。



教育再生委員会
藤井委員長

藤井 近年、子どもたちが携帯電話のメールに熱中するあまり、人としてのコミュニケーション能力や学校での適応能力が落ちているようにも感じていますか？

市長 子どもの携帯電話の使い方に関しては、気がかりな問題だと感じっていますが、法や条例で規制することは難しいと考えます。家庭や学校で携帯電話の適正な使い方を教えてゆくべきだと思います。

藤井 家族愛や思いやりの心を深めるために「市歌のパネル」を親子で作成する事業を行なうのですが、市では市歌や市旗をどのように扱っていますか？

市長 市役所では始業時と昼に市歌を館内放送で流しています。市内すべての学校で市旗を掲揚しています。市歌については行政の催し物をする際に市歌を流すなどして、もっとアピールが必要だと感じています。



30,000 CANDLE PROJECT

みはら 2009.10/31

Everlasting Light

「みはら」が変わる。「みんな」で変える。

第6回三原浮城まつりの前夜祭として
10月31日 午後6時より、ついに開催!!
日時 2009年10月31日(土)
18:30~21:00
場所 三原小学校 グランド **雨天順延**

お詫び
 キャンドル受付場所として記載しておりましたがコンビニエンスストアでの回収について、当方の準備不足のため、コンビニエンスストアの全てでの回収ができませんでした。キャンドルを持ち込まれた方、また市内コンビニエンスストア各店には多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

全ては一体感と郷土愛を育むために

私たちまちづくり委員会は、三原市民が一体感と郷土愛を感じていただきたいと願い、様々な事業を検討した結果「みはらエバーラスティングライト」を皆様に提案させていただきました。

どうして手作りキャンドルなのでしょう。そこには、家庭で他愛もない会話を楽しみながら簡単に作ることができ、一人では成しえないこともみんなの力を合わせれば素敵なことができると感じていただけるのではないかと、という想いが込められています。

たくさんのご協力の元で

三原市、三原市教育委員会の後援や、廃油・容器を提供してくださった企業の皆様、県立広島大学の学生ボランティアの皆様、各種団体様の多大なご協力、そして何より子どもたちを中心とした各ご家庭の皆様。本当にありがとうございます。

私は今、たくさんの方々の子カラをひしひしと感じ、すこしずつ育まれてゆく「一体感

を肌で感じております。

そして、目指すは世界記録へ!

皆様が心を込めて作っていただいたキャンドルに三原の希望を乗せ、私たちはギネス記録へ挑戦します。ギネス記録は単なる手段の一つに過ぎませんが「三原に誇れるものを、みんなの力で創り出したい」と願ってスタートした今事業は、大きなカタチとなって私たちの胸に残ることでしょう。

そうして集まった皆様の思いは、かけがえの無い三原の宝物だと確信しております。

「みはら」が変わる。「みんな」で変える。

残すところ、あと1週間となりました。10月31日(土)は、私たちが一体感を育むためのスタートとなる日です。

三原市民がエバーラスティングライトを通じて、子どもたちのこと、地域のこと、まちのこと、そして全てのことに対して前向きになって欲しい。笑顔や、やさしさにあふれる三原市民でいて欲しい。「どうせ変わらない」から

「ではどうしよう」と考えて欲しい。少しでもキャンドルに込められた様々な想いを感じていただければ幸いです。



「さあ、いよいよ始まりです。皆様、三原小学校で織り成す素敵な夜を、ぜひ一緒に過ごしましょう!」
 (社)三原青年会議所 とみた のぶひろ
 まちづくり委員会 富田 伸博 委員長

当日持ち込み大歓迎です!!

会場にキャンドルの当日受付窓口がございます!
 1つでも多くのキャンドルを、一人でも多くの参加を、心からお待ちしております!!



親子が一緒になって作った「市歌パネル」を市長に贈呈いたします!



完成した市歌パネルは、現在JR三原駅構内に展示しております。

第6回三原浮城まつりにて贈呈式を開催!!

市歌パネルを市に贈呈!

10月4日に家族一緒になって作り上げた「市歌パネル」を市に贈呈いたします。市歌パネルは、市役所に飾られる予定となっております。そして、市歌を、市内の合唱団と参加者が一緒になって歌う予定です!

一緒に秋空の下、三原市歌のパネルを見ながら、市歌を歌って一体感を育みませんか?

日時
2009年11月1日(日)
9:45~10:15

場所
JR三原駅前広場 うきしろロビー前
(メインステージ)

お問い合わせ
 (社)三原青年会議所 事務局まで
 担当/教育再生委員会 藤井・桐島

やさもっさ 伝言板

11月号予告

今年度(社)三原青年会議所
 まちづくり活動の総集編

やさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしく申し上げます。

やさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	10/26日	27日	28日	29日	30日	31日	11/1日
7:30	○	○	○	○	○	○	○
9:30			○	○	○	○	
12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00						○	○
20:00	○	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○	○	○	○
24:30						○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
 TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
 HP http://mihara-jc.com
 ホームページから
 メールマガジンが登録できます

三原青年会議所 **検索**

携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい。

■発行 (社)三原青年会議所 ■編集 総務・広報委員会



みはらが変わる。みんなで変える。



手作りキャンドルが3万個集まり、輝きはじめた「希望の灯」

みはらエバーラスティングライトを開催!

(写真提供 吉原写場)

10月31日(土)三原市立三原小学校グラウンドにて(社)三原青年会議所 まちづくり委員会(富田伸博委員長)は、第6回三原浮城まつりの前夜祭として「みはらエバーラスティングライト」を開催しました。この目的は「手作り廃油キャンドル」を3万個集め、同時に灯すことを通じて、市民のチカラを合わせることで大きな結果が出せるということを実感するというものでした。

開催に至るまで「みはらが変わる。みんなで作る。」を合言葉に、多くの市民が協力し、目標としていた3万個の手作り廃油キャンドルを開催当日に灯すことができました。そして、会場に集まった多くの市民は、3万個のキャンドルの灯の下、それぞれが揺らめく光を思い思いに眺め、幻想的な時間を共有しました。

10月31日！市民の力が集まった！

開催当日は好天にも恵まれ、約40名のボランティアスタッフにより三原小学校グラウンドに「WE♡MIHARA」の形に3万個を超えるキャンドルが並べられました。そして、午後5時30分からキャンドルへの点火が始まり約1時間後にすべてのキャンドルへの点火が終わると、会場の照明を落とすカウントダウンが始まりました。

カウントダウンの瞬間を迎える！

会場に集まった市民と一緒にカウントダウンを行いました。

「5・4・3・2・1・0！」

「きれいー」「すごいー」「やったー！」

照明が落ちた瞬間、集まった市民からは感嘆の声が響きました。

3万個の手作りキャンドルの作りだした灯は、

普段味わえない雰囲気を生み出しました。そこに集う市民の一体感。その灯に込められた市民の思い。自分たちの作ったキャンドルが作り上げた大きなチカラ。そして、ゆったりとした時間が流れてゆきました。

それぞれの思い。伝わる思い。

開催当日、会場にはのべ3000人の市民が集まりました。三原で初めての大規模なキャンドルのイベントとなる「みはらエバーラスティングライト」は、多くの人の記憶に残る夜になったのではないのでしょうか。また、多くの親子連れの姿がありました。子どもたちにとって、このような体験は大人になったときに素晴らしい思い出として語られることでしょう。そういった故郷での思い出が多く残ることが、きっと未来の「みはらのチカラ」になってゆくと思います。

※現在ギネスブックに記録を申請中です。

第6回三原浮城まつりにて

市歌パネルを市に贈呈!!
市役所に展示しています!



11月1日(日)第6回三原浮城まつり、メインステージにて、三原市に市歌パネルを贈呈いたしました。

この市歌パネルは(社)三原青年会議所 教育再生委員会(藤井俊孝委員長)が10月4日(日)に開催した家族愛推進事業「みんなで市歌をパネルにして展示しよう」にて20組の家族により作成され、一文字一文字を各家族が分担して彫り上げたものです。



五藤市長に目録を贈呈

贈呈式で、盛影理事長より市長へ目録が贈呈された後、市民合唱団のリードにより、三原市歌を会場が一体となって合唱しました。



贈呈した市歌パネルは市役所に展示しておりますが、彫った家族にとっては大切な「思い出」であり、彫った子どもたちが大人になったとき、この市歌パネルを見て「親子の絆」を思い出し、よりよい親として次世代へと「思いやりの心」を伝えていただければ幸いに思います。

市民の皆様も市役所にお立ち寄りの際に、ぜひご覧ください。

<家族愛があふれる家庭の醸成のために>

今年度 教育再生委員会では「教育の原点は家庭」にあると考え「思いやりの心を育む大切さ」を訴えかけてまいりました。

そこで、家族が協力して市歌パネルを彫ることを通じて「家族の思いやりの心」を深めるきっかけとなる事業を開催いたしました。市歌パネルはそのような家族の想いが詰まった作品です。

家族という最小単位の社会において「思いやりの心を育む大切さ」は重要なことであり、今一度家庭での教育において、親の役割の重要性を見つめなおし、子どもたちに「家族の絆」を伝えてゆけるよう、私たちは今後も活動してまいります。

1年間、どうもありがとうございました。



(社)三原青年会議所
教育再生委員会
藤井俊孝 委員長

2009年度 (社)三原青年会議所理事長よりごあいさつ



(社)三原青年会議所
第48代理事長
盛影誠司

<始動〜つよくなるために〜>

我々(社)三原青年会議所は、当会議所会員自らが「つよくなる」ことで、三原が「つよくなる」ことに貢献し、当会議所の目指す「明るい豊かなまちづくり」へと繋げてゆきたいという思いを持ち、今年度のスローガンとして「始動〜つよくなるために〜」を掲げ活動してまいりました。そして、会員も一丸となり、三原のまちづくりのために、様々な活動を展開してまいりました。

<今年度を振り返る>

今年度はまちづくり委員会での「市民意識変革活動」や「つよい三原推進活動」、教育再生委員会での「家族愛推進活動」、自らが「つよくなるため」に開催した未来創出委員会による2回の公開経営セミナー、LOM支援委員会による「平和を望むヒロシマであり続けるために我々の使命を考える」例会、「少子高齢化を迎える三原の将来像を市長とともに考える」例会などの様々な活動を行ってまいりました。

そのような青年会議所活動を通じて「つよさ」を自らのものにし、我々自身が弛まぬ努力とゆるぎない強い信念を形成し、市民の皆様と共に、三原を「明るい豊かなまち」にするために精進してまいりました。

その成果はすぐに出るものではございませ

んが、それらの活動を通じ、多くの市民の皆様より、様々なご意見やご支援、ご協力を賜り、我々が市民の皆様から「つよさ」を頂いたのではないかと感じております。

<未来の三原のために>

今年度の我々の活動が、将来の三原において「明るい豊かなまち」になるための一助となれば、幸いに存じます。そして、来年度も今年度を超えるよう、つよくなるために「始動」し続けながら、当会議所は活動してゆく所存です。

市民の皆様におかれましては、今後とも(社)三原青年会議所の活動に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして最後に紙面を通してではございますが、1年間、誠にありがとうございました。市民の皆様にも、厚く御礼申し上げます。

やさもっさ 伝言板

やさもっさでは、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。また、読者投稿欄「ちょっと一言」にも、ふるってご寄稿をよろしくお願い申し上げます。



やさもっさちゃんねる

今月号の放送予定日(三原テレビ放送)

	11/30日	12/1日	2日	3日	4日	5日	6日
7:30	○	○	○	○	○	○	○
9:30			○	○	○	○	
12:30	○	○	○	○	○	○	○
17:00						○	○
20:00	○	○	○	○	○	○	○
22:30	○	○	○	○	○	○	○
24:30						○	○

MCAT

すべてのお問い合わせ先

(社)三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL : (0848) 63-3515 / FAX : 62-1141

Eメール info@mihara-jc.com
HP http://mihara-jc.com
ホームページから
メールマガジンが登録できます



← 携帯の方は、
こちらからお
問い合わせ
下さい。

三原青年会議所 検索

■発行 (社)三原青年会議所 ■編集 総務・広報委員会

